NIE実践報告

1．タイトル：☆新聞から学ぶ社会の常識・国語の常識

2．学校名

北海道岩見沢市立医師会附属看護高等専修学校

3．実践者名（代表者名）

清藤眞智子

4．学年

第1学年

5．教科・領域名および受講児童・生徒数

国語　42人

6．単元（本時の学習課題）名

社説を読む

7．目標（狙い）

まず社説とは、その新聞社の考え方、意見です。それ故、社説を書く人は一人ではなく、チームで書きます。チーム力で書き上げます。ちなみにチームの人数は道新15名、朝日33名、読売23名、毎日22名です。原稿

8．評価の視点

・自分が深く学びたいと思う社説を選択できたか。
・漢字の読み・語句の意味・音読など基礎基本の学習ができたか。

9．年間指導計画における本単元の位置づけと時数
（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

社説を読む　3時間

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

①事前に社説を選んで切り抜いておく。学校の新聞を活用。
②教師の作成した「社説の読み方」学習例を基に読み方の学習を学ぶ。（1時間）
③自分が選んだ社説を音読し、学習プリントに沿って、学習を進めていく。
④3~　4人のグループを作り、互いの学習プリントを読んで、コメント用紙にコメントを書いていく。
（③と④で2時間）

（留意点）
・机間巡視を行い、適時アドバイスを行っていく。
・難しい社説を選んだ生徒については、より多くの言葉をかけ、時には寄り添って一緒に考えてあげる。
・時間内に終了できなかった生徒は家庭で学習して、次時に提出する。

11．児童・生徒の反応、感想・意見

生徒の自己評価（複数回答）ついたと思う国語力　読解力＝24人、識別力＝6人、要約力＝10人、思考力＝6人
（生徒の感想）自分自身新聞を買っていないので、読み、今どんな事が記事に、話題になっているか面白く思えました。勉強になり、自分の頭の引き出しに入れることができました。

12．成果と課題

生徒達の感想を簡潔にまとめると「難しかった。頭を使った。国語の力がついた」と表現できます。確実に国語力をつけられる学習であるといえるでしょう。新聞提供のお陰で、どの生徒も6紙から社説を選べるので、大変感謝しています。